

現代短歌分類辭典

別名現代短歌總索引

第十八卷

津端 修 編纂

津 端 修 編 纂

現代短歌分類辭典

第 十 八 卷

現代短歌分類辞典

18



昭和四十三年三月五日発行 定価四五〇円

著者発行
兼印刷者

津 端 修

東京都中野区上高田二丁目九の一六

発行所

津 端 修

振替 東京六七三四一番
電話 三八七局八四二九番

目

汗②	六五七	歌数
吾兄（あせ）	二四	
褪せ	五	
畦	一九八	
畦々	二	
褪せー褪せーて	一	
浅瀬石川（あぜいしかは）	一	
褪色	三	
汗馬	一	
あせかかりをり	一	
汗かき	一	
畦かげ	一	
褪せかけーた	一	
畦かげ土	一	
畦川	一	

次

校木（あぜき）	一	頁数
畦木	五	
畦草	二	
汗くさい（終止形）	一	
汗くさい（連体形）	一	
汗臭き	九	
汗くさし	一	
畦桑	一	
校倉（あぜくら）	七	
畦ーごとに	一	
汗衣	一	
褪せー咲けーる	一	
褪せーし	四	
汗しづく	一	
汗しづくしーて	一	

一 一 一 一 七 一 一 一 三 一 一 一 一 一 一 四 一 歌数

八 二 一 一 一 一 一 一 四 〇 一 一 六 一 一 一 一 歌数

あせつて	三	歌数	七	襷せーぬ（未然形）	三	歌数	一〇八	頁数
あせつーてる	一		六	襷せーぬ（連用形）	一三		一〇九	
襷せーて	六二		〃	襷せ……ぬーべし	一		〃	
あせーで	一		一〇三	襷せ……ぬーらむ	一		〃	
畔藤胡瓜（あぜとうきうり）	一		〃	畦塗り	一		二〇	
あぜ菜	一		一〇四	あせーぬる	一		〃	
あせーながら	二		〃	あせーぬれ	二		〃	
あせーなくーに	二		〃	襷せのこる	二		〃	
畦なし畑	一		一〇五	汗ばえ	一		二	
畔竝木	一		〃	襷せはてーて	一		〃	
あせにあせーつつ	一		〃	あせはてーにーける	一		〃	
あせーにーけらーずーや	一		〃	あせはてーぬれーば	一		〃	
襷せーにーけり	一一		一〇六	汗ばみ（名詞）	七		〃	
襷せーにーけるーかも	三		一〇七	汗ばみ（動詞）	九		二三	
あせーにーけるーらし	一		〃	汗ばみきーたり	一		二三	
あせーにーたる	一		〃	汗ばみくる（終止形）	一		〃	
あせーにーつつ	二		〃	汗ばみくる（連体形）	一		〃	

汗みどろに	二	一三	あせりーし	一	歌数
褪せーむ	一	一三	焦せり立ち	一	一四三
汗疹(あせも)	四	〃	あせり立つ	一	一四三
褪せゆかーむ	一	〃	あせりーつ	二	〃
褪せゆきーて	二	〃	あせりーつつ	三	〃
あせゆきーにーつつ	一	一三	あせりーて	三	一四四
あせゆきーぬ	一	〃	あせりにあせり	一	〃
褪せゆく	一〇	〃	あせりゐる	二	〃
褪せゆけーり	一	一四〇	あせりをり	一	一四一
あせよーかし	一	〃	あせる(終止形)	四	〃
畦寄(あぜより)	一	一四	あせる(連体形)	一	〃
あせらーす	一	〃	あせれーども	一	一四一
あせらーず	三	〃	朝臣(あそ)	一	一四七
あせり(名詞)	二	〃	阿曾	二	〃
あせり(動詞)	四	一四	安蘇(上野国)	二	〃
あせりーき	一	〃	安蘇(下野国)	二	一四八
あせりごころ	一	〃	阿蘇(熊本県)	八	〃

阿蘇一の煙
阿蘇荒
阿蘇嵐
阿蘇高原
阿蘇風
阿蘇が嶺
あそこ
阿蘇五岳
あそこらへん
阿蘇山
阿蘇山中
阿蘇岳
阿蘇谷
阿蘇平
阿曾津彦
阿蘇農家
阿蘇の神

歌数
七 一 一 二 一 一 一 三 一 一 一 一 四 五 一 一六 一

頁数
一五 一五 一五 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 一六 〃 〃 一五 〃
阿蘇のぼり
阿蘇の峰
阿蘇の宮
阿蘇の御山
阿蘇の山
遊ばーうーなんて
遊ばーうーよ
遊ばさーず
遊ばーざらーむ
遊ばーざりーけり
遊ばーざりーにーき
遊ばーざるーなり
あそばしおかーず
遊ばしーし
遊ばしーむ
あそばしめ
遊ばしめーける

歌数
一 一 一 三 二 一 一 一 一 一 二 一 一 一 一 一 一 一

頁数
一六 一六 〃 〃 〃 〃 〃 〃 一三 〃 〃 〃 〃 〃 〃 一六 〃

歌数	頁数		歌数	頁数
一	一六	遊ばせーしめーし	二	一七
一	〃	遊ばーしめーたり	一	〃
一八	〃	遊ばす(終止形)	一	〃
七	一六	遊ばす(連体形)	一	一六
一	〃	遊ばーす	一	〃
二三	一六	遊ばーず(終止形)	一	〃
一〇	一七	遊ばーず(連体形)	一	〃
一	一七	遊ばーずーて	一	阿蘇初旅
一	〃	遊ばすーらしーも	一	遊ばーで
五	〃	遊ばする	七	〃
二	一七	あそばせ	二	一八
一	〃	遊ばせーず	一	〃
二	〃	遊ばせーつ	一	〃
一	一七	遊ばせーつつ	二	〃
二八	〃	遊ばせーて	二	一八
二	一七	遊ばせーながら	一	〃
一	一七	遊ばせーに	一	〃

あそびまし	歌数 一	頁数 一八三	遊び倦き―たる	歌数 二	頁数 二八
遊び―む①(終止形)	五七	一八三	遊びあき―て	三	〃
遊び―む②(連体形)	一九	一七	遊び厭く	一	〃
遊び―め―や	一	一八	遊び遊びに	一	二九
遊び―れ……ず	一	〃	あそび相手	一	〃
遊び―ん①(終止形)	八	一九	遊び歩かな(あそびありかな)	一	〃
遊び―ん②(連体形)	一	一九	遊びありく	二	〃
遊(猪狩のこと)①	四	〃	あそび歩かむ	一	〃
遊②(名詞)	二四	〃	遊び―争ふ(あそびいさかふ)	一	三〇
遊び③(動詞)	五一	二三	遊びいで―て	一	〃
遊び明かさ―む	二	二六	遊びかぬ―らむ	一	〃
遊びあか―ず	一	〃	あそび―かくるる	一	〃
遊びあか―なく	一	二七	遊び―き	二〇	二三
あそび飽か―ぬ	一	〃	あそびき―し	一	二三
遊び飽か―ね	一	〃	あそびき―しか―ば	一	二三
遊びあか―ね―ば	一	〃	あそびき―つ	一	〃
遊び飽き	一	〃	遊び来―に―けり	一	〃

遊び客
 遊びくたびれ
 遊び暮らさーな
 あそび米ーらし
 遊び暮らしーき
 遊び暮らしーし
 遊び暮しーつ
 あそびくらしーて
 遊びくらす
 遊び暮せーし
 あそび暮らせーば
 遊び暮らせーり
 あそび来る
 遊び往へーる
 遊びーけむ
 遊びーけり
 遊びーける

歌数
 一 一 一 二 二 一 二 一 四 六 三 一 二 二 一 一 三 四

頁数
 二三 二三 二四 〃 〃 〃 〃 二五 〃 二六 〃 〃 〃 二七 〃 〃 〃 二八 〃 〃
 遊びーけるーかな
 遊びーけるーかも
 遊びーけるーなり
 遊びーけん
 遊びごころ
 あそびこーしかーば
 遊びごと
 遊事する
 あそびざま
 遊びーし
 遊びーしかーども
 遊びしーて
 遊びしーにーけり
 遊びす
 あそびすぎーし
 遊び過ぎーて
 あそびすごしーて

歌数
 一 一 五 一 三 一 一 二 四 一 二 一 二 一 一 二 一 一

頁数
 二九 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

遊びする	三	二四三	遊び足ら—ず	一	二四六
遊びする—らし	一	〃	遊び足らは—す	一	〃
遊びせ—し	一	〃	遊び足らひ—て	一	〃
遊びせ—なく—に	二	二四三	遊び足らひ—ぬ	一	〃
遊びせ—ぬ	一	〃	遊び—たり	三	二四七
あそびせ—む	一	〃	遊び足り	一	〃
遊びせ—り—けり	一	〃	遊び—たり—き	一	〃
あそびそむ	一	〃	あそび—たり—けむ	一	〃
遊び—たい	二	二四四	遊び足り—たり	一	二四八
遊び—たから—む	一	〃	遊び足り—つつ	一	〃
遊び—たき	一	〃	遊び—たる	一八	〃
遊び—たく	一	〃	遊び散らし—し	一	〃
遊びたはむる	一	二四五	遊び—つ	五	二五〇
遊びたはるる	一	〃	あそびつかるる	一	〃
遊魂	一	〃	遊びつかれ	三	二五二
遊び—たまは—む	一	〃	遊び疲れ—し	三	〃
遊び—たまへ—り	一	二四六	遊び疲れ—たる	一	〃

遊び疲れーて	一〇	歌数
遊び疲れーぬ	一	
遊びつくしーて	三	
遊びーつつ	二	
あそびーつつーをれーば	一	
遊びーつる	二	
遊びーつるーかな	一	
遊びーて	一〇三	
あそびーてーし	一	
阿蘇びと	三	
遊び処	四	
遊びどち	二	
遊び友達	一	
遊び仲間	三	
遊びーながら	二	
奏び馴らし(あそびならし)	一	
遊びなれーたる	一	

遊びーにーき	二五	頁数
遊びーにーし	二五	
遊びーぬ	〃	
遊びーね	二五	
遊びの家	二五	
遊びのこしーし	〃	
遊びの街	〃	
遊び場	〃	
遊びはじめーぬ	二六	
遊び呆けーし	〃	
遊び呆けーて	二六	
遊び呆くる	〃	
遊び恍惚	〃	
あそびほけーけむ	二六	
遊び呆けーしーか	〃	
遊び呆けーたり	〃	
遊びほけーたる	〃	

遊び	一	歌数
遊び	三	
遊び	二〇	
遊び	一	
遊び	二	
遊び	二	
遊び	二	
遊び	一	
遊び	二	
遊び	一	
遊び	二	
遊び	一	
遊び	一	
遊び	一	
遊び	四	
遊び	二	
遊び	一	
遊び	一	
遊び	二	
遊び	〃	
遊び	〃	
遊び	〃	
遊び	二七	頁数
遊び	〃	
遊び	〃	
遊び	二七	
遊び	〃	
遊び	〃	
遊び	二	
遊び	二	

あそび呆けーて	四	二七三	あそび廻れーり	一	二七
遊び恍けーにーき	一	〃	遊び廻れーる	一	〃
遊びほける	一	〃	あそび女	四	〃
遊び惚けをらーむ	一	〃	あそびめぐりーし	一	二七六
あそびほけをり	一	二七四	遊女ども	一	〃
あそびほほくる	一	〃	あそびもとほる	一	〃
遊び呆けーて	一	〃	遊び屋	一	〃
あそびほほける	一	〃	遊びーやらむ	一	二七九
遊びほほけある	一	二七五	遊びーやらん	一	〃
遊びほれーつつ	一	〃	遊び行く	二	〃
遊び恍れーてーむ	一	二七六	遊び寄る	一	〃
遊びーましーけむ	一	〃	遊びわざ	一	二八〇
遊びーましーし	一	〃	遊びゐーき	二	〃
あそびーましーつる	一	〃	遊びゐーし	一四	〃
あそびーまじはり	一	〃	遊びゐーたり	一	二八二
あそびーます	一	〃	遊びゐーたりーし	三	二八三
あそびまはらーむ	一	二七七	遊びゐーたる	一	〃

遊びゐーて	八	二八
あそび居ーぬ	三	二八
遊ぶ①終止形	六	〃
同 ②連体形	二八	二八
遊び居るーかも	二	二八
遊びゐるーなり	二	二七
遊び居り	四六	〃
遊び居りーし	二	二九
遊び居りーぬーらむ	一	〃
遊びをる	四	〃
遊び居るーかな	一	二九
遊び居るーかも	一	〃
遊びをるーぞーも	一	〃
あそびをれ	一	二九
遊ぶ①終止形(結句止)	一五八	〃
遊ぶ②終止形(中間切)	四〇	三〇六
合計	三〇七〇	

あせ②【名詞】〔汗〕

かそかなる泥鰯の卵炙りつつ妻が額に汗は垂りたり

片側はよしずを張りし露店街汗あえし人の群は行き交ふ④

かの夜この冷たかる手ににぎられし乳房も汗を覚えやしぬらむ①

川上にむきて入りゆく峽の道やうやく汗は額よりいづ⑭

川口の午後の汽笛のあはれなり事務室にゐて汗ふくわれは

川の原に草焼き石を墾す人二人は汗をふりつつかがむ

還り来し武漢の戦また云ひて汗ふきにけりしづけき秋を

川水に汗流しをり幼くて鰻とりし岩はもとのままなる②

南瓜人眼さへ黄ばませ溢る汗に染めし黄染のその汗衣⑩

神います羽黒の山にのぼり来てわが身は清し汗をさまりぬ⑥

神山にさしかかりつつ谷川のうへ吹く風に汗ひえむとす⑥

あせ

木俣 修

堀内 通孝

富田 碎花

斎藤 茂吉

古泉 千櫨

土屋 文明

北原 白秋

松田 常憲

尾山 篤二郎

斎藤 茂吉

斎藤 茂吉